

['09-1] Site Inspection Sheet 分析日2009.5.29

ファンサイト株式会社

		トップページ	サイト・タイプ	ターゲット	ネーミング (場のデザイン)	ニュース性・話題性 (認知度/アクセス数)	会員のメリット (会員化への導入・誘導の仕組み)	コミュニティ向けのおもなコンテンツ	コミュニティ向けのおもな機能	運用側からユーザーへのリアクション (フィードバック (運用))
マツダ www.mazda.co.jp		印象としては差ほど変化は感じないものの、デザインのマイナーチェンジが行われている。特に、右下に斜めの入った切り替え可能なメニューが新鮮。全体的にプロモーション色の強いトップページであるが、スマートに展開していて好印象。	プロモーション・アドバタイジング・コミュニティ	マツダ車ユーザー、投資家ほか「ZoomZoom」のコンセプトを打ち出すことで、ターゲット・ユーザーをより明確化。	「MAZDA OFFICIAL WEB SITE」 「MAZDA WEB MEMBERS」 「WEB TUNE FACTORY」	トップページ上では更新日時を記載しないことによる情報の鮮度把握ができない体裁やRSSのフィードも近年変化なし。フィード表示も引き続きポップアップウィンドウを採用しているため、ブラウザのポップアップブロックにかかってしまうため、若干のストレスを感じてしまう。<RSSフィード>:5種【カーンフォーメーション】【マツダTOPICS】【企業情報】【ニュースリリース】【株主・投資家情報】	昨年と変化なし。会員化部分は近年同様のため、かつて会員化の形態をとっていた【WEB TUNE FACTORY】や【WEB MEMBERS】は、他コンテンツと並列の扱いになり、表立ったリンクボタンは見あたらないため、気づかれない可能性が高い。	【WEB MEMBERS】:掲示板、自分の車のアビリティ、オーナーフォーラム、マツダ車が写った風景写真募集など。壁紙、アイコンなどのデジタルグッズもある。 【CarGirl】:女性向け別メインサイト。ドライブ体験レポートや、愛車自慢など。	【MAZDAWEB MEMBERS】リワードカード、ホテル予約など。 【CarGirl】:質問に答える、自分にあつた車を選んでくれる機能、お役立ちリンク集など。 【投票箱】:ファンブックアンケート、他のユーザーの投票ログが見えなくも閲覧できる。	MMプロジェクトではユーザーが提供した情報を何らかの形でフィードバックする予定。写真コンテストではユーザーの投票をまとめ、発表している。
ホンダ www.honda.co.jp		大幅なりリニューアルが行われた。かつてのトップページで使用されていたイラストも一部に使用されている。例年もそうであったが、リニューアルされたことで更に長いトップページとなった。四角で囲われたコンテンツメニューが並ぶレイアウト、様々なものが配列されているのが、メリハリがあるため、逆にワクワクした印象を受ける。また、タグクラウドが導入されているのが目新しい。芝刈り機や船外機がトップページに出ているのも現在の風潮を現しているかのよう。ページが長いことを除けば、自動車業界webサイトとしては新しく期待できるトップページになっている。	プロモーション・アドバタイジング・コミュニティ	ホンダ車ユーザー、投資家ほか。	「ホンダ コミュニティ」 http://www.honda.co.jp/communit 「ホンダファンサイト」 http://www.honda.co.jp/hondafan/	RSSフィードは企画ものが1つ減っているが他は変化なし。<RSSフィード>:8種【Hondaウェブサイト情報】(※以下の5種:全体/クルマ/バイク/汎用品/モータースポーツ、プレゼント)【Honda Dog 新着情報】【ステップワゴン】とすばらしい人生 写真VIEWER】他と比べ、コミュニティのコンテンツなどユーザー参加型のものについて配信を行っている点が特徴的である。点が特徴的である。	コミュニティ部分は差ほど変化は見られない。全国統一ホンダ模試やプレゼントゲームなどホンダファンを作り出すような仕掛けが盛り込まれている。また、「ホンダCカード」というクレジットカードが誕生し、そのオーナー向けにメンテナンス時期の連絡や販売会社への連絡等が行えるようになってきている。	特に目立った変化は見られない。「日遊べる」という見出しがついた、ホンダファン向けの閲覧コンテンツ「ファンサイト」を持つ。Webプラモ、全語種ホンダ模試、エンジン音が聞けるHONDAサウンドなど、個性的なコンテンツが豊富。またホンダの車のおもちゃを紹介する「トイタウ」など、他にも【愛犬と一緒】【これも女性】などかなりのカテゴリが存在している。若干ボリュームがありすぎる感も表現プロジェクト、など。	例年同様ポッドキャスト配信、メルマガ配信(60種)、プレゼント、ワイガヤでのユーザーの生放送、何でもアイデアコンテスト投稿、webサイトへの意見受付、フォトコンテスト、ハイイクを使った楽しさ表現プロジェクト、など。	新トップページへの意見をトップページ上で募集している。ユーザーに直接質問するあたりがHondaらしい。
日産 www.nissan.co.jp		ファーストビューの印象はほぼ変更点を感じないが、実は縦長のトップページに変更されている。試乗車検索ランキングやコンテンツランキングといった、webサイトの内容ではなく閲覧側に関するコンテンツが追加された。また、以前よりもアウトプットが積極的になっており、コンテンツを見進めて行くにさせられるものになった。	プロモーション・アドバタイジング・コミュニケーション	日産車ユーザーが中心。	「マルチデバイス(MD)」(デジタルオーディオプレーヤーなどのモバイル端末やポータブルゲーム機、携帯型ゲーム機などによるインターネット接続に各端末に連した白連カムページを見ることが可	キャンペーン&インフォメーションとして、ファーストビューで閲覧可能になった。日付が入っており、頻繁な更新が伺える。RSS配信用フィードはその場で複数選択し、簡単に追加できるような配慮がされているのが特徴的。ブログは昨年より1種減っている。<RSSフィード>:18種【Nissan 情報】(5種)【ブログ】(3種)【車種情報】(5種)【ホビタイプ別ユーザーボイス】(5種) またRSSリーダーのデスクトップツールを配布している。	N-Link OWNERSとなったことで、日産車オーナーのみが登録可能に変更になっている。イベントに参加、各種割引、各種webサービスなどが可能に。	カーライフお役立ち情報など。(非会員のため、詳細不明)。通常サイト内の、ユーザーボイスコンテンツにて、ユーザーの声を車種別に詳細閲覧や統計閲覧が可能。	登録した自分の車の状態に合わせたタイムリーな情報が届く。(非会員のため、詳細不明)	閲覧状況をランキング形式で公開。(試乗車検索ランキング、コンテンツランキング)
ダイハツ www.daihatsu.co.jp		基本的には昨年と同様だが、マイナーチェンジが行われており、グローバルナビは目的別に改定されている。プロモーションエリア内で直接動画閲覧はできない出たり入ったりする、下部のメニュー部分については、出てくる判定が昨年同様プロモーションエリア内の切り替えメニューと近いため、使いつらさを感じてしまう。	プロモーション・アドバタイジング	ダイハツユーザー、スモールカーを愛するユーザー。ダイハツカフェは比較的女性向き。	「ダイハツ」、「ダイハツカフェ」 http://www.daihatsu.co.jp/cafe/index.html	更新日付入りで【RENEWAL CONTENTS】【NEWS】【CAMPAIGN】【INFORMATION】【NEWS RELEASE】が記載されているため、更新性は感じる。RSS配信は行っていない。	D-maga(メールマガジン)の配信。	ダイハツカフェにて、レシビやカーケアに関する読み物を用意している。	メルマガ配信。	特になし。
トヨタ toyota.jp/		リニューアルされている。とにかく文字が多いトップページになった。整理はされているものの、以前感じられた高級感を取り払われている。ニュースランキングなども表示され、親しみやすいものに移行するような傾向が垣間見られる。バナーが切り替わるものは相変わらず健在している。	プロモーション・アドバタイジング	トヨタ車ユーザーほか。	「toyota.jp」、「eTOYOTA.net」 https://etoyota.net/webpassport/center/dc/top	日付入りでわかりやすく、トップページに表示しているため、更新性は感じられる。またRSSも導入済み、ニュースランキングのフィードが追加になった。<RSSフィード>:11種【TOYOTAニュース】【ニュースランキング】【トヨタ自動車企業情報】【TOYOTA Mail Magazine】【カーンフォーメーション】【イベント&キャンペーン】【オリジナルアクセスリ】【お知らせ】【Channel TOYOTA】【TOYOPET SQUARE】【Corolla Avenue】【カーラインナップ】(6種)	「TOYOTA Web Passport」という会員制サービス。トヨタが提供する個々のサービスでのユーザー情報を一括管理できる。またトップページのカスタマイズが可能。	ニュースランキング、ブログパーツ配布、メールマガジン、TV-CFライブ、キャンペーン情報など。	MYPAGEにて、トヨタが提供する情報から、自分でレイアウト変更やコンテンツの表示、非同時などもカスタマイズ可能。	特になし。
三菱自動車 www.mitsubishi-motors.co.jp/		昨年から変更点は特に見られない。昨年登場した更新日付入りの新着情報一覧も引き続きクリックすることで展開する格納式だが、黒背景に白文字から、白背景に黒文字に変更されている。これにより、情報は見やすくなった。	プロモーション・アドバタイジング	三菱車ユーザーほか。	「MITUBISHI MOTORS JAPAN」	クリックすることでWhat'sNewを開覧できる。日付が入っており、頻繁な更新が伺える。カテゴリは以下の4種。【プレスリリース】【カーラインナップ】【スペシャルコンテンツ】【三菱自動車工業からのお知らせ】(※日付なし) RSS配信は行っていない。	「me」というHTML形式のメールマガジンを発行。各種キャンペーン情報や新車情報を配信。(車種ごとにメールマガジンがあるものもある)	イベントカレンダー、CMライブラリー、各車種のペーパーラフトダウンロードや、過去のスペシャルコンテンツアーカイブ	特になし。	特になし。
スバル www.subaru.co.jp		大幅なりリニューアルがされている。以前の印象的で大胆なイメージが一掃し、メカニク色の強い、男性向きのデザインになっている。表示するコンテンツも増え、縦長のトップページになった。プロモーションエリアの車種切り替えが、サムネ表示されている車そのものをクリックすることで、紙芝居のように切り替えが可能。	プロモーション・アドバタイジング	スバル車ユーザーほか。(比較的女性ユーザーより印象)	「SUBARU オフィシャル WEB サイト」 「SUBARU WEBコミュニティ」	トップページには常時1種のニュースが日付入りで表示されている。また、リニューアルに伴い、トップからフィード表示画面に遷移が可能になった。<RSSフィード>:4種【スバルトピックス】【モータースポーツ情報】【SUBARUオフィシャルサイト更新情報】【キャンペーン情報】	「スバルWEBコミュニティ」会員になると、様々なリマインダー(ユーザーのお勧めスポットなどが可能。また会員登録限定コンテンツの閲覧が可能。	ブログパーツの配信、メンバーズギャラリー、メンバーズスポット(ユーザーのお勧めスポットを集めたもの)、イベント、オフ会情報、スバルブログ、限定ムービーなど	ブログを登録する【Fun Net】や、登録者のブログを「ドライブ」できる【Fan Net Touring】、リマインダー機能、お勧めスポットの投稿、メルマガジンの配信など	WEBコミュニティ編集部ブログにて様々な情報発信を行っている。
スズキ http://www.suzuki.co.jp		例年から変更はほぼ見られない。相変わらず、一部のコンテンツは以前のデザインのまま。なお、「スズキ歴史館」というコンテンツのバナーが新しく追加されている。ここより、実際の見学予約が可能になった。	プロモーション・アドバタイジング	スズキ製品ユーザー全般	「スズキ株式会社」	ニュースリリースが日付入りで3つ表示されており、更新性は感じられる。カテゴリは現在以下4種。【四輪】【二輪】【船外機・その他】【企業】 RSS配信は行っていない。	特になし。(登録フォームはカテゴリ請求でのみ使用)	【SUZUKI デジタルミュージアム】、【スズキ 何でも質問箱】(※子供向け)、【陸上部情報】。	スズキ歴史館見学予約申し込み	特になし。

総括:今回は、大幅リニューアルした企業が複数あった。昨年までは、ビジュアルを大きく使った印象的なものが多かったが、今年は情報量が多く見せる傾向が強くなっている。特に縦長のトップページが増えていることが特徴。

2009年 自動車業界サイトのポジショニング

■ コンテンツ軸（垂直軸）

- A: ユーザーフレンドリーか？（親しみやすさはどうか）
- B: ニュース性はあるか？（更新性は高いか）
- C: 企業の思い入れはあるか？
- D: オリジナリティはあるか？
- E: 「本物」であるか？（情報が本物か？）
- F: 「お得感」はあるか？

■ 機能軸（水平軸）

- A: 会員登録フォームがあるか？
- B: 掲示板（BBS）があるか？
- C: チャット機能があるか？
- D: アンケート応募フォームがあるか？
- E: ワン・トゥー・ワン機能があるか？（個人用のページが持てるなど）
- F: ショッピング・バスケットがあるか？

サイト	合計	縦A	縦B	縦C	縦D	縦E	縦F	横A	横B	横C	横D	横E	横F
MAZDA	4/5	●		●	●	●		●	●	●	●	●	
HONDA	6/4	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●
NISSAN	6/4	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●
DAIHATSU	4/1		●	●	●	●					●		
TOYOTA	3/4		●	●		●		●		●	●	●	
MITSUBISHI	4/1	●	●	●	●	●		●					
SUBARU	5/4	●	●	●	●	●		●		●	●	●	
SUZUKI	3/1		●	●		●					●		

